個人投資家向け
会社説明会

ヤマハ発動機株式会社
東証一部:7272

本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 成長戦略

4. 株主還元

会社概要

（2019年12月末現在）

社名	ヤマハ発動機株式会社
業種	輸送用機器
上場	東京証券取引所（証券コード：7272）
創立	1955年（昭和30年）7月1日
資本金	859億5百万円
代表取締役社長	日髙　祥博
従業員数	連結：55,255人　単体：10,567人
本社	〒438-8501 静岡県磐田市新貝2500
関係会社	連結子会社 134社（国内24社、海外110社）
単元	100株

代表取締役社長 日髙 祥博

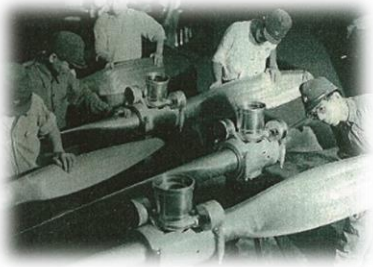
静岡県磐田市本社

ヤマハ発動機のあゆみ

1887年、山葉寅楠が浜松でオルガン修理

1897年、 **日本楽器製造** 誕生
（現在のヤマハ株式会社）

帝国陸軍の要請により、
軍用航空機の木製プロペラの製造



1955年、 **二輪車部門**を分離・独立
（ヤマハ発動機の始まり）

YAMAHA

ヤマハ 株式会社

YAMAHA

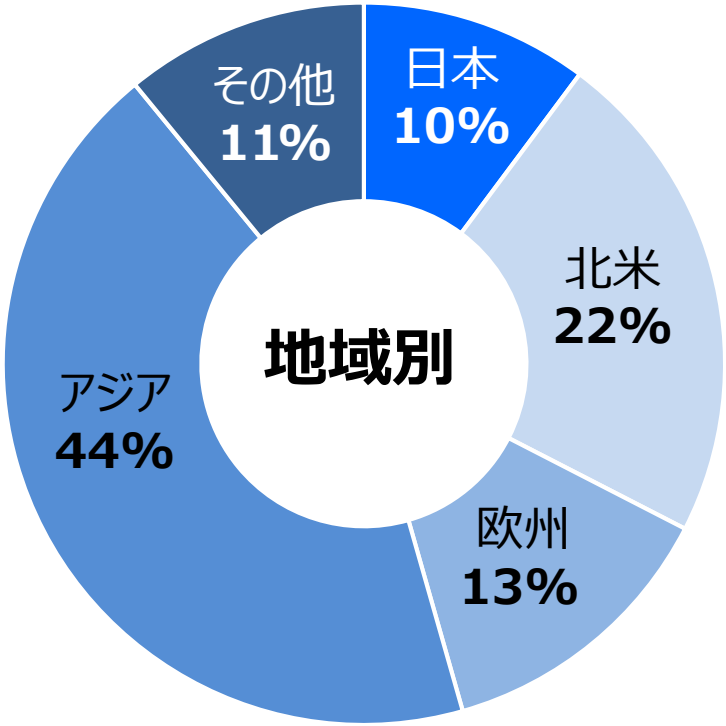
ヤマハ発動機 株式会社

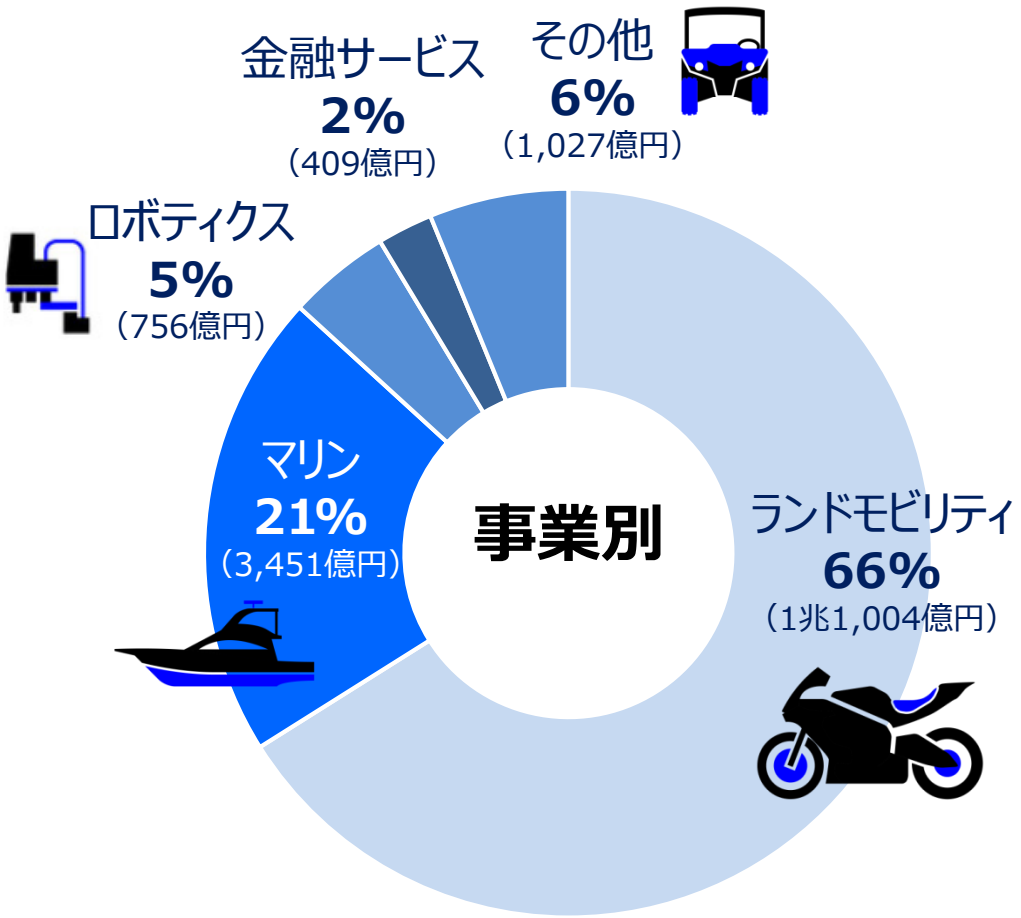
多彩な商品展開　～陸・海・空すべての領域で事業展開～

ランドモビリティ事業	マリン事業	ロボティクス事業	その他事業	金融サービス事業

売上構成 （2019年12月期）

連結売上高＝ 1兆6,648億円





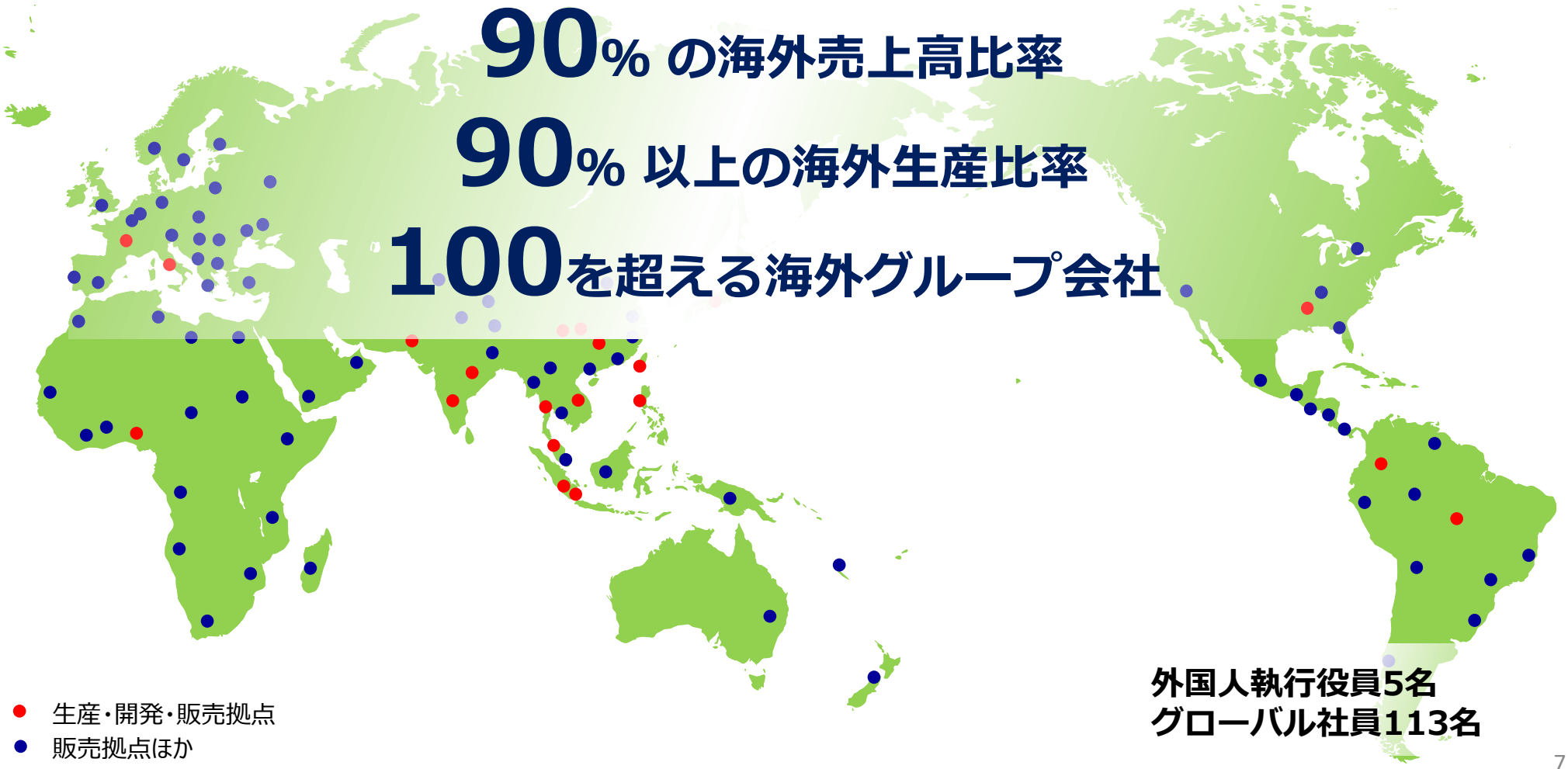
グローバルな事業展開

180を超える国と地域で生産・販売

90% の海外売上高比率

90% 以上の海外生産比率

100を超える海外グループ会社

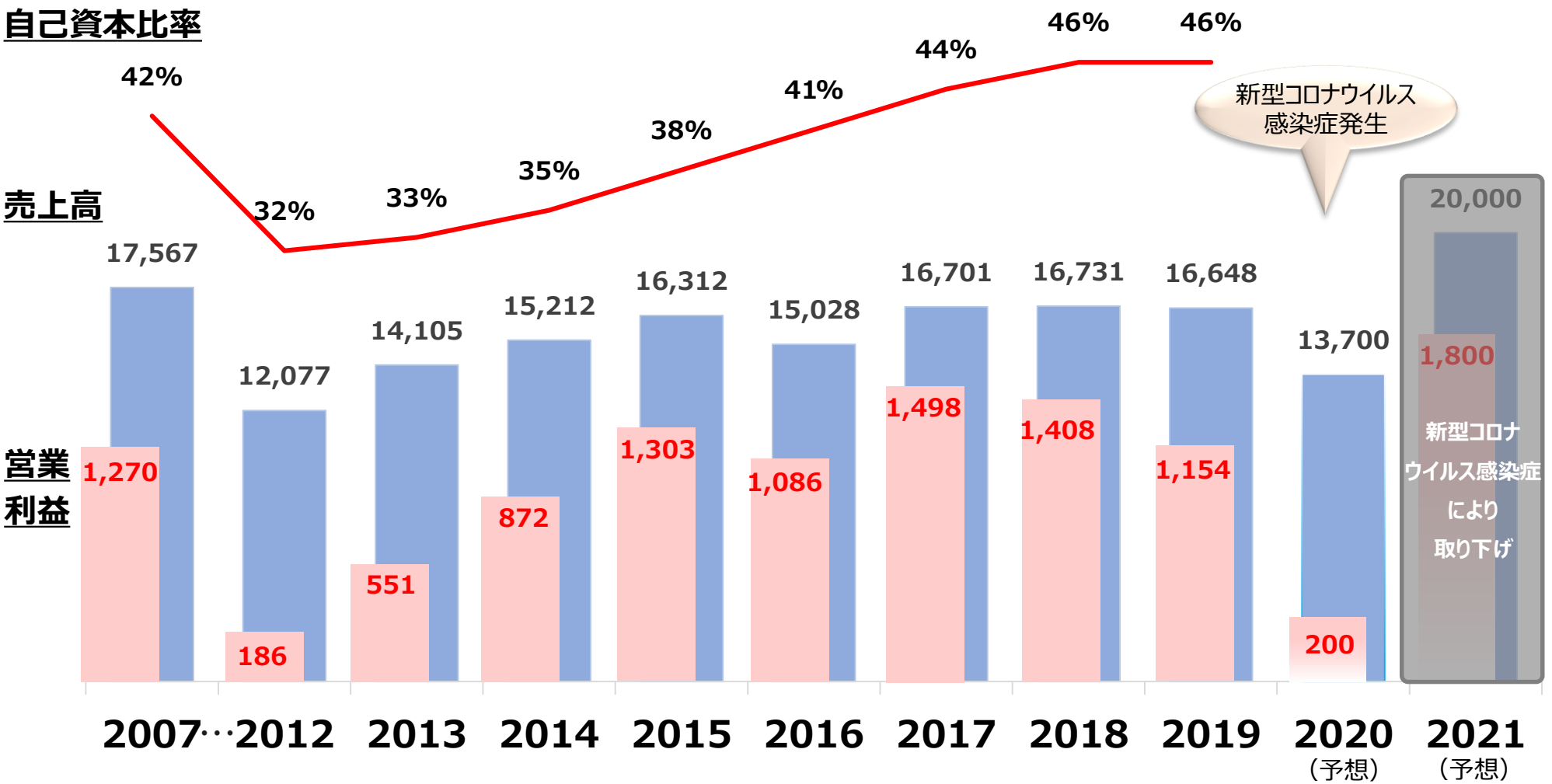


- 生産・開発・販売拠点
- 販売拠点ほか

外国人執行役員5名
グローバル社員113名

業績の推移

※表示されている2014年以前の数字は、
販売金融に関わる収益・費用の組替を行う前のものです。



	2007…2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020（予想）	2021（予想）
EPS（円）	248.81	21.45	126.2	196.06	171.89	180.84	290.93	267.35	216.83	0	
ROE（%）	14.2	2.5	12.7	16.2	12.6	12.3	17.6	14.6	11.1	0	

※新型コロナウイルス感染症によって事業環境が計画策定時から大きく変化したため、2021年度の数値目標の達成は困難と想定しています。

本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 成長戦略

4. 株主還元

ランドモビリティ事業

二輪車、ATV（四輪バギー）
ROV（レクリエーショナル・オフハイウェイ・ビークル）
スノーモビル、電動アシスト自転車等

事業活動

ランドモビリティ事業

二輪車事業は会社創立から基幹事業として展開

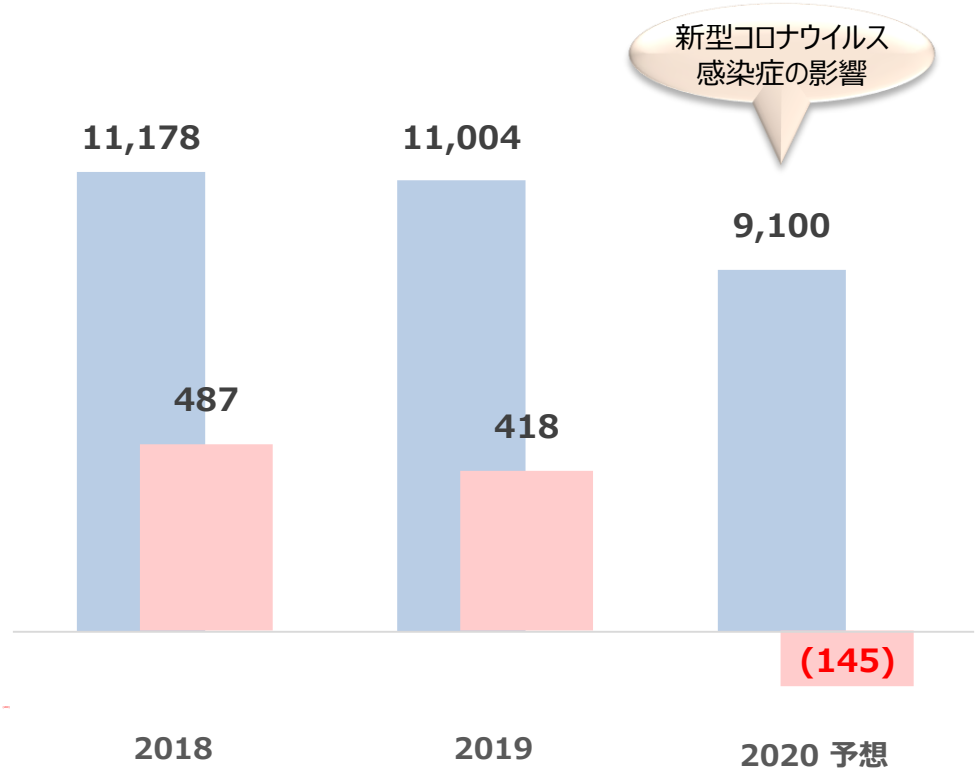
経営効率・商品競争力を高め、安定した収益体質へ

二輪車

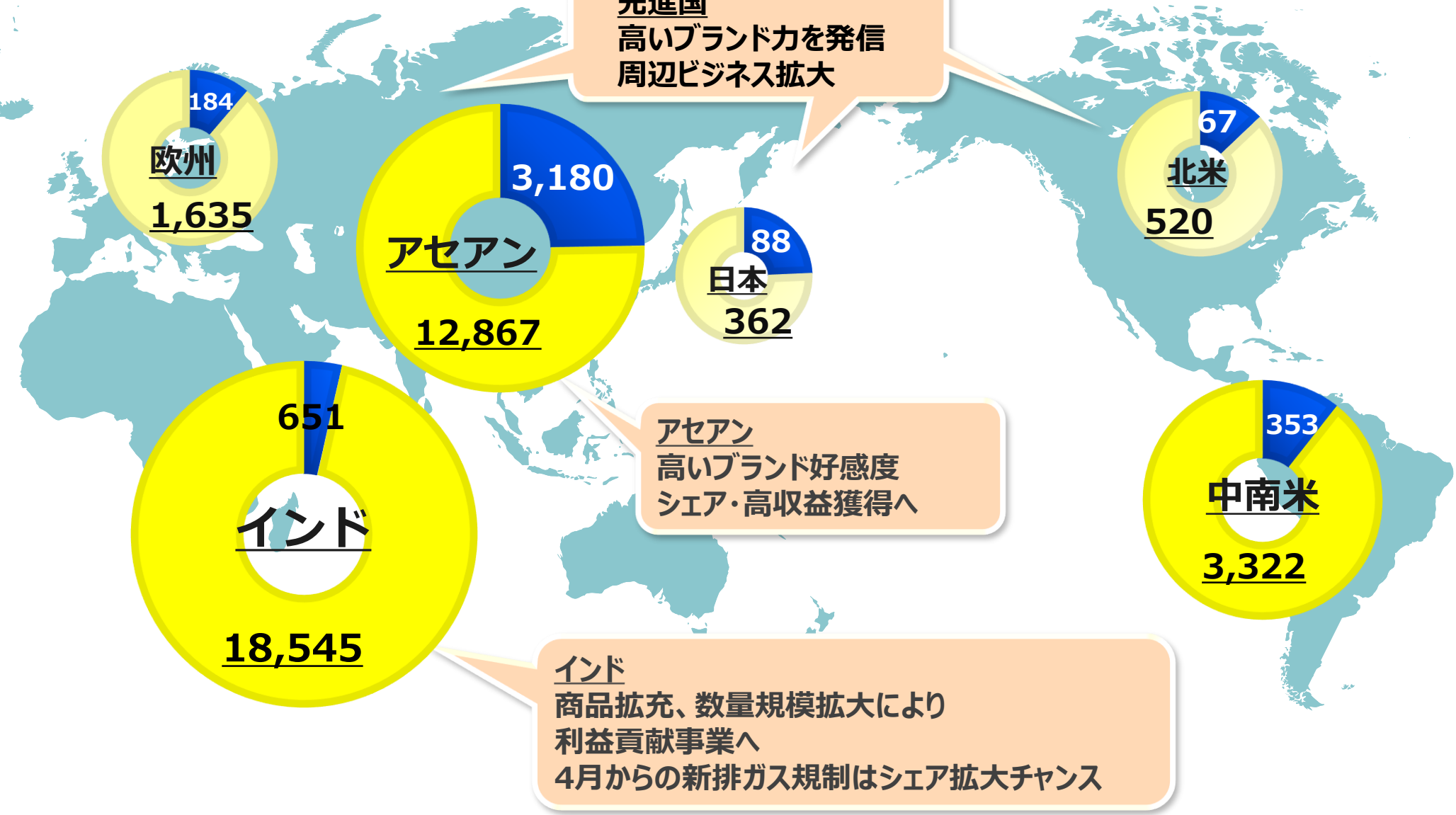
スノーモビル

ROV

電動アシスト自転車



二輪車事業 ～ 世界市場 ～

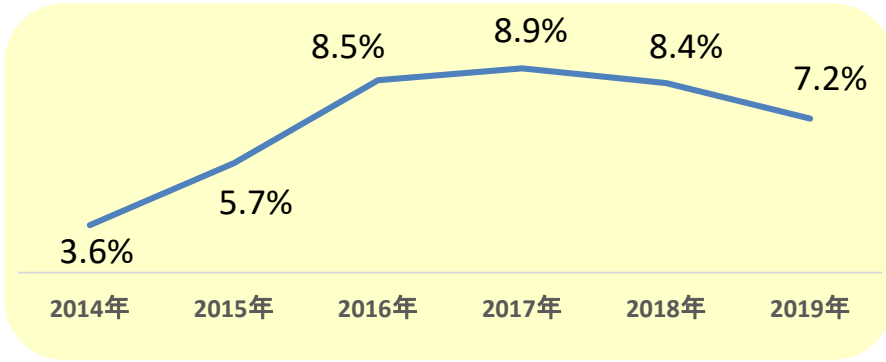


二輪車の世界の総需要計：53,368千台

総需要2019年実績（千台）

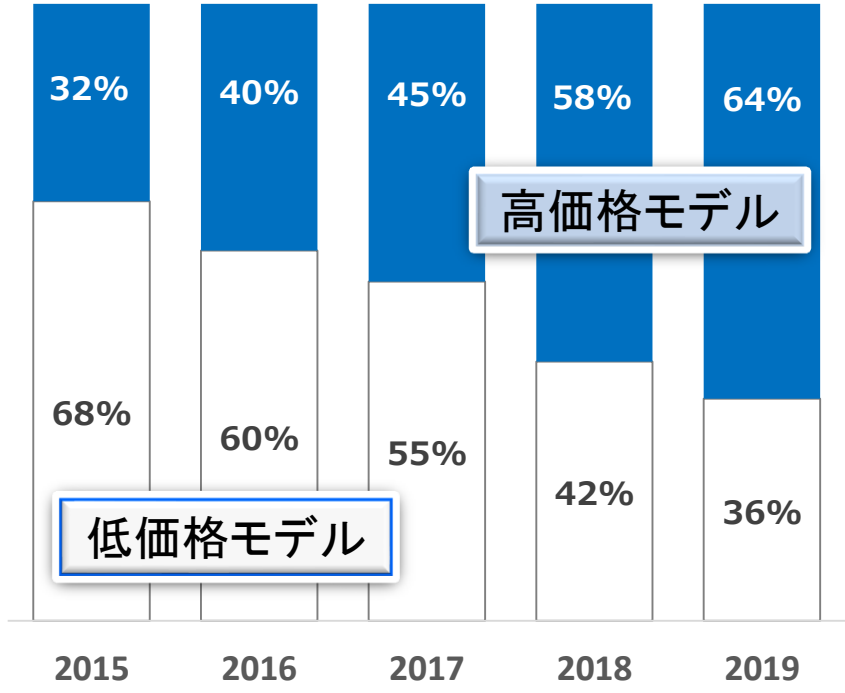
二輪車事業 ～ 新興国市場 収益性改善 ～

アセアン
営業利益率大幅改善



①プラットフォーム開発によるコストダウン

②高価格モデルの販売比率増加

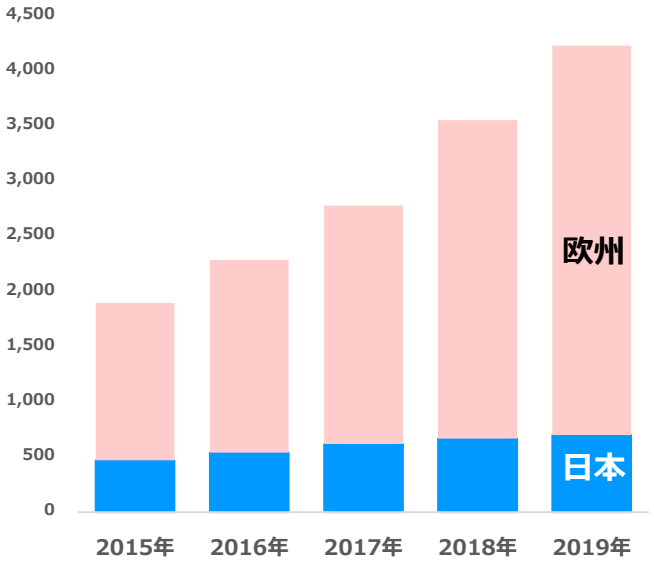


例）インドネシア 価格帯別販売台数推移

電動アシスト自転車事業

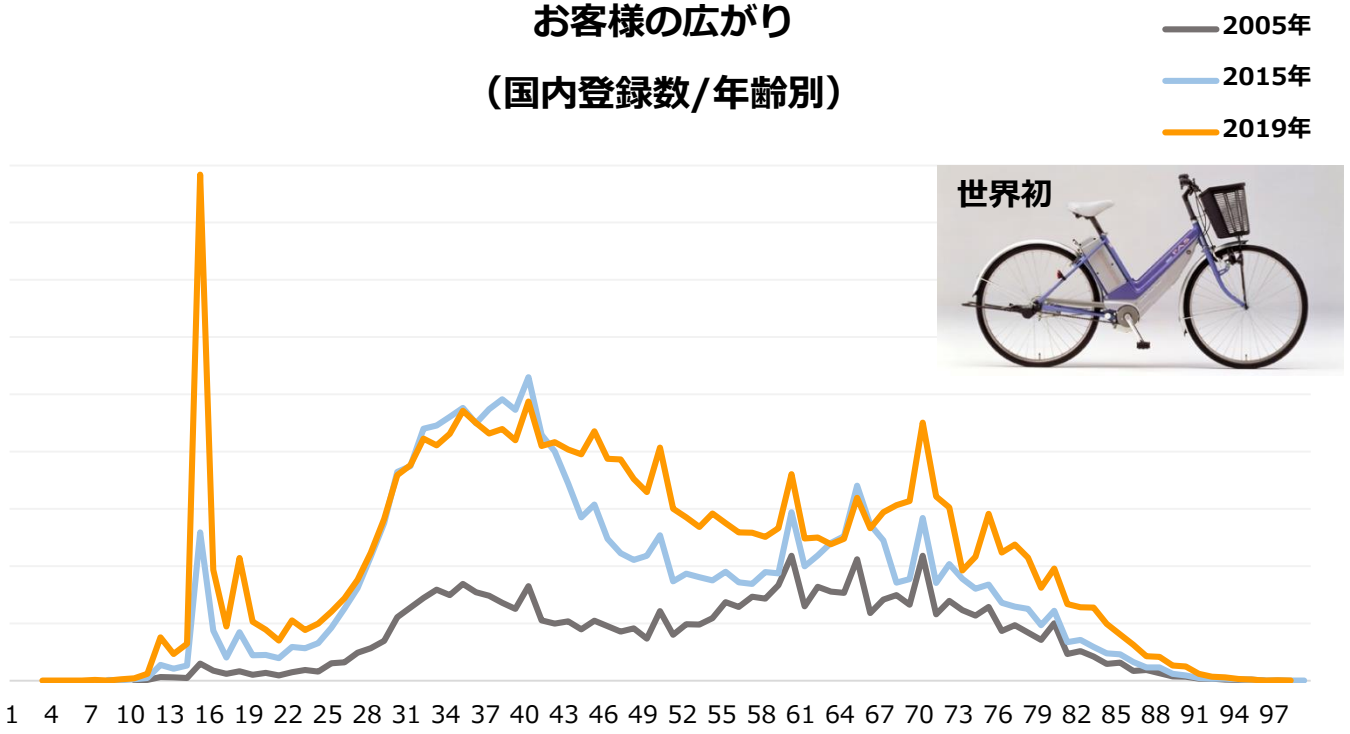
電動アシスト自転車 総需要

（日本・欧州市場： 千台）



お客様の広がり

（国内登録数/年齢別）



- 当社が世界初の製品展開（1993年）
- 欧州の市場拡大→出荷台数の伸長
- 健康志向、環境意識、交通環境の変化

→市場拡大継続

通学モデル
PAS Ami

スポーツ電動
アシストモデル
YPJ-MT Pro

ファミリーモデル
PAS Babby un

足つき No.1モデル
PAS SION

マリン事業

船外機、ウォータービークル（水上オートバイ）
ボート、プール、漁船、和船

事業活動

マリン事業

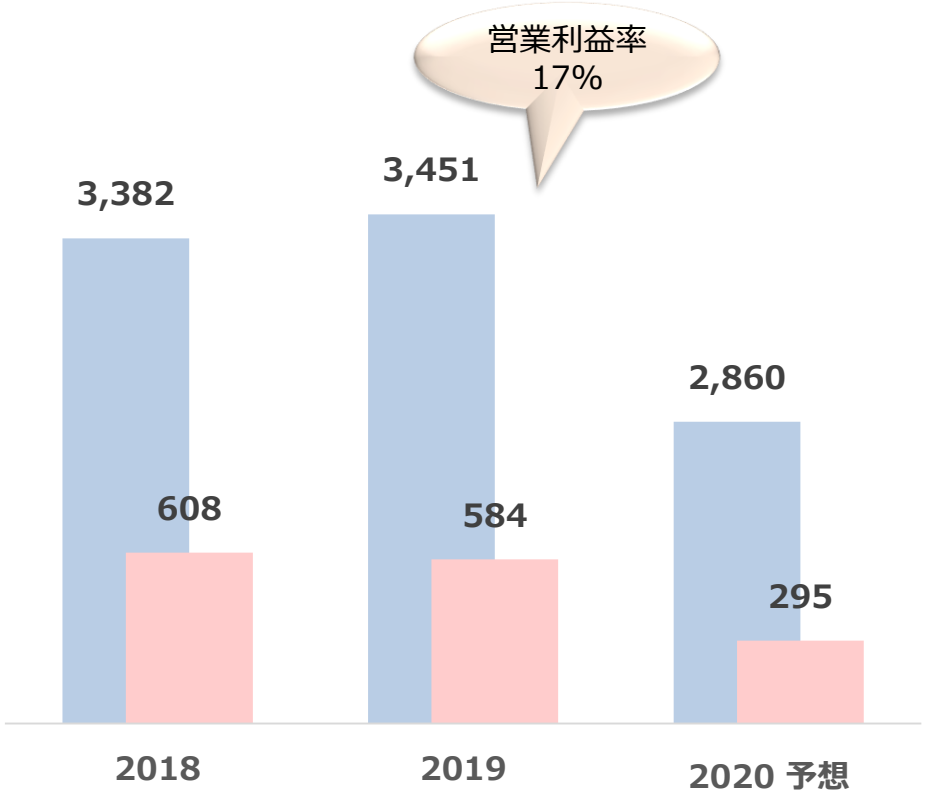
売上高3,500億円、営業利益率15%以上
大型船外機の需要拡大続く

船外機

プレジャーボート

水上オートバイ

プール



マリン事業　～ 米欧　市場のトレンド～

大型船外機の需要増加

①大型船外機の性能アップ

②船内スペースの有効活用

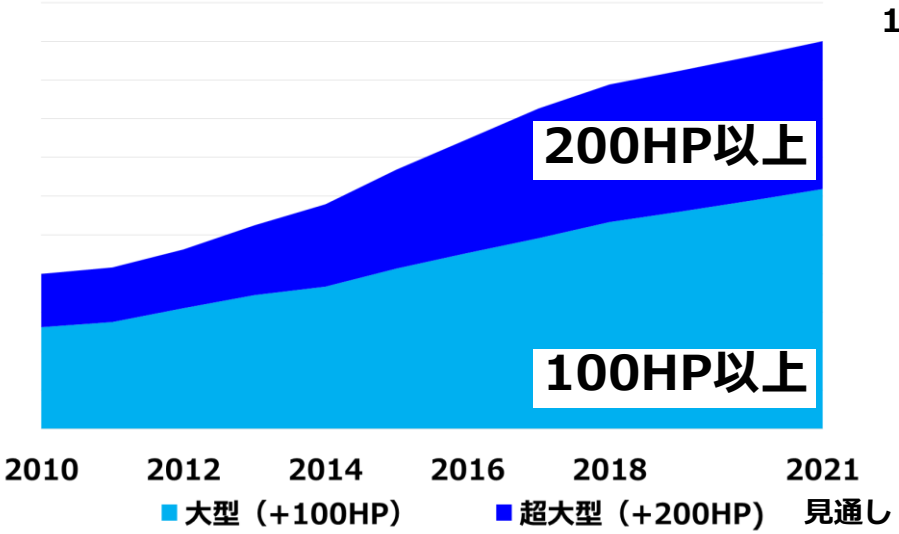
③取り扱いやすさ

④環境規制の高まり

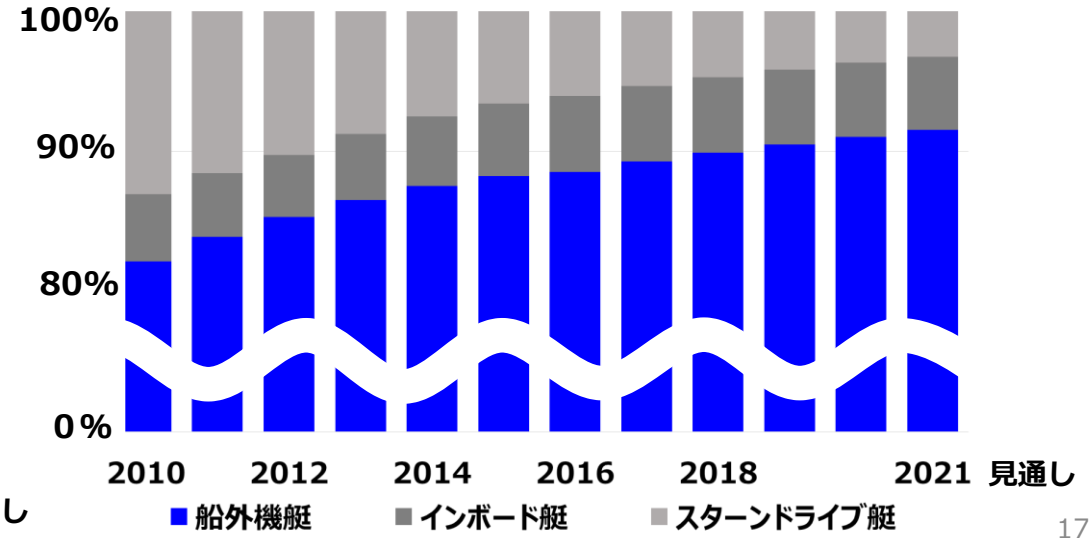
大型の場合、

1艇に対し、複数基の使用も！

■大型船外機総需要推移 (米欧)

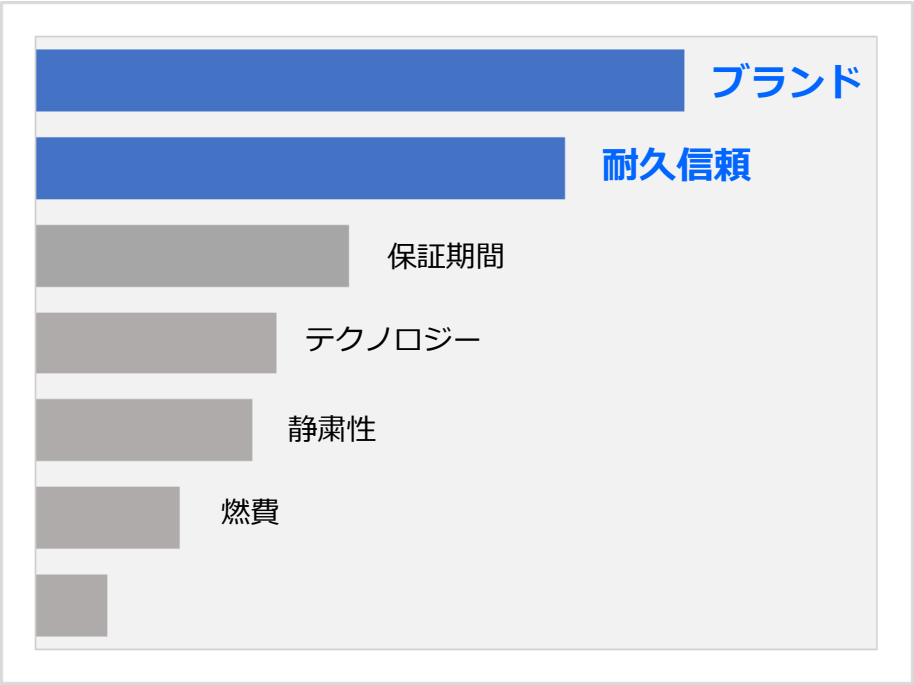


■推進機別ボート販売比率推移 (北米のみ)



マリン事業　～ 当社　高収益の要因 ～

“高い信頼性から生まれたブランド力”



出所）F300B購入動機 USA（当社調べ）

エンジンからシステムサプライヤーへ

ロボティクス事業

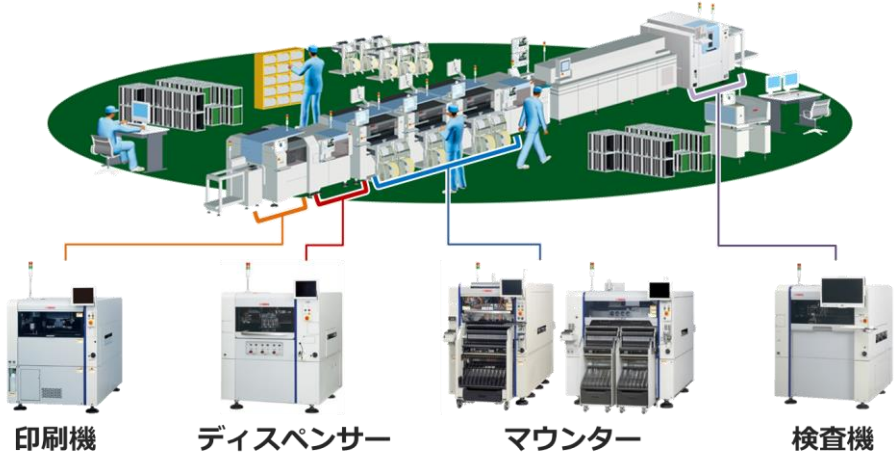
サーフェスマウンター（表面実装機）、
産業用ロボット、産業用無人ヘリコプター等

事業活動

ロボティクス事業

基板生産ライントータルでの提案を強みに高収益を確立

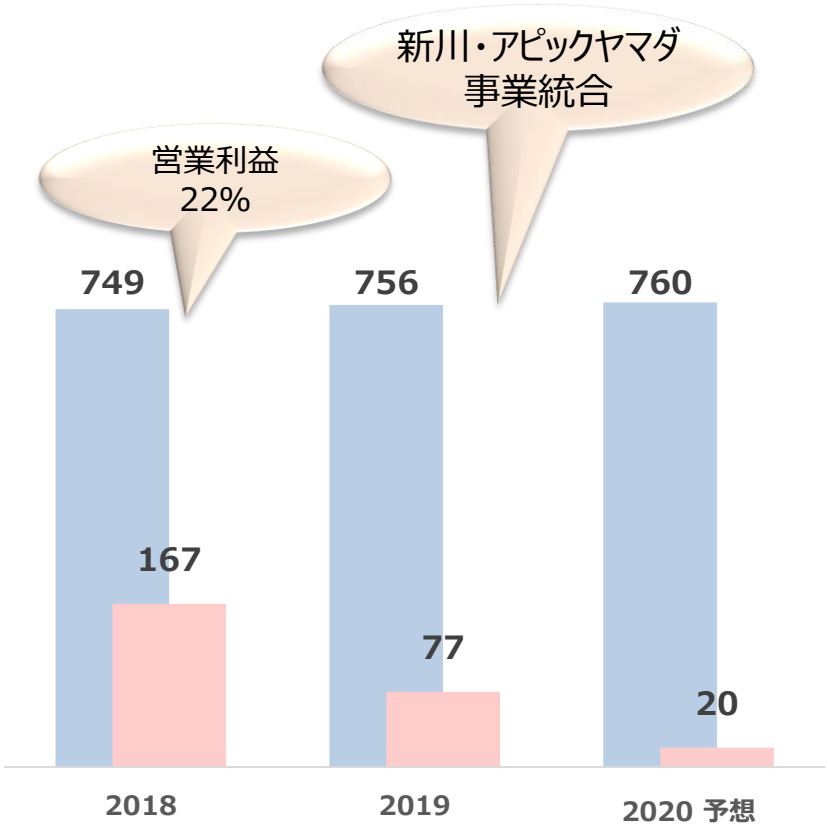
ヤマハ発動機のメイン製品（表面実装機）



表面実装

基板の作り方（メイン4工程）

1. 印刷	2. 搭載	3. リフロー	4. 検査
はんだペーストを基板上に**印刷**する工程	はんだ上に**部品を搭載**する工程	はんだを**熱で溶解→硬化**させる工程	基板が正しくできているか**検査**する工程



売上高（億円）　営業利益（億円）

本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 成長戦略（長期ビジョン）

4. 株主還元

成長戦略と創出する社会価値

企業目的

感動創造企業

競争力を生み出す基盤

成長戦略の方向性

事業展開

ランドモビリティ事業

二輪車　電動アシスト自転車　ATV・ROV（四輪）

マリン事業

船艇（ボート）　マリンエンジン　プール

ロボティクス事業

産業用機械・ロボット　産業用無人ヘリコプター

金融サービス事業

金融サービス

その他

電動車いす　ゴルフカー

長期ビジョン

ART for Human Possibilities

3つの注力領域

Advancing Robotics
基盤としての知的技術、ロボティクス技術を活用し進化させる

Rethinking Solution
ヤマハらしいソリューションを発案する

Transforming Mobility
モビリティを変革する

人はもっと幸せになれる。

創出する社会価値

環境・資源

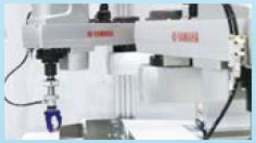
- 地球環境にやさしいパーソナルな移動手段の提供
- 安全な水や資源の確保

交通・教育・産業

- 安全・快適・楽しい、移動サービスの提供
- 安全運転教育の強化による交通安全意識の底上げ
- 技術者の育成支援、就業機会の創出

イノベーション

- 自動化・自律化による単純労働からの解放
- 知的技術・制御技術の活用促進



人材活躍推進

- ダイバーシティ・インクルージョンの促進
- 働きがいのある組織体制

成長戦略（長期ビジョン）の進捗状況

成長戦略の方向性	取り組み	事業化に向けた展望
Advancing Robotics ロボティクス技術の活用	・新川、アピックヤマダとの事業統合 ・東京ロボティクスへの出資 	・ヤマハモーターロボティクスホールディングスの統合プロセスを加速化させ、構造改革を断行
Rethinking Solution ヤマハらしい取り組み	・農業用無人走行車両の走行試験開始 ・AI自動運転車両「ランドリンクコンセプト」を東京モーターショーにて発表 	・投資先スタートアップとの協業を通じ、事業化を検討中
Transforming Mobility モビリティの変革	・小型立ち乗りモビリティ「TRITOWN」の実証実験実施 ・LMW第4弾「TRICITY300」を発表 ・YAMAHA MW-VISIONを東京モーターショーで発表 	・LMWラインナップ拡充 ・研究開発を加速し、事業化・商品化を推進

社会価値創出に向けた活動事例

～ヤマハクリーンウォーターシステム～

ESG外部評価

■FTSE4Good / FTSE Blossom Japan

ESGに関する世界的指数「FTSE4Good Index Series」と、年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）がESG投資のために採用している指数「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に選定。（2019年）

FTSE4Good

FTSE Blossom Japan

■S&P Japan 500 ESG

世界最大規模の金融指数算出会社の米国S&P ダウ・ジョーンズ・インデックス社が発表した「S&P Japan 500 ESG」の構成銘柄に採用。（2019年）

■SNAM（エスナム）サステナビリティ・インデックス

環境、社会、ガバナンスの評価が高い企業に幅広く投資する年金基金・機関投資家向けのSRI（社会的責任投資）「SNAMサステナビリティ・インデックス」の2020年構成銘柄に３年連続で認定。

2020 Sompo Sustainability Index

■健康経営優良法人～ホワイト500～

経済産業省と日本健康会議が共同で進める「健康経営優良法人認定制度」において「健康経営優良法人（大規模法人部門）」に３年連続で認定。

2020 健康経営優良法人 Health and productivity

本日の内容

1. 会社概要

2. 事業活動

3. 成長戦略

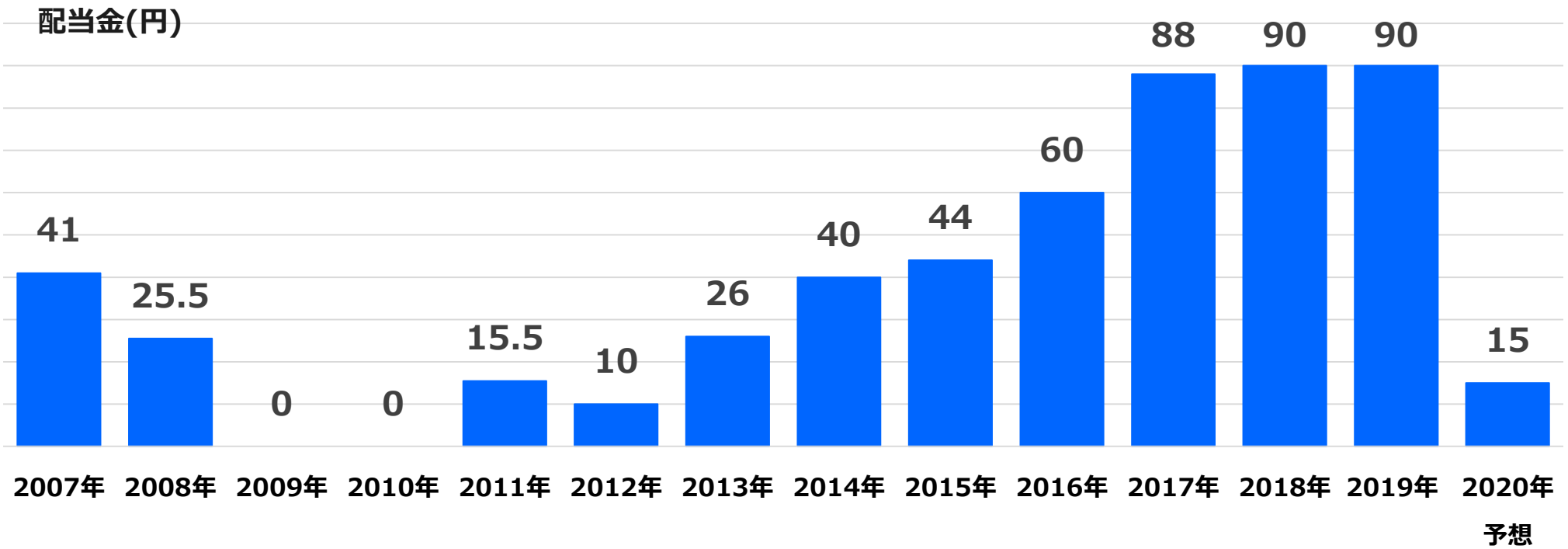
4. 株主還元

配当金

1.キャッシュフローの範囲内で成長投資と株主還元をバランス。

2.配当性向は30%水準を目安。

3. 継続配当の維持。



株主優待

1,000 P	2,000 P
3,000 P	4,000 P
体験型商品	

本社・グループ会社所在地の名産品
体験型の商品をご用意！

【株主優待対象者様】

12月31日時点の株主名簿に記載又は記録された
1単元（100株）以上の株式を保有の株主様

【優待内容】

保有株式数・保有期間によりポイントを進呈し、
ポイント数に応じて、優待品の中からお好きな商品を
お選びいただけます。

【株主優待ポイント】

保有株数/期間	3年未満	3年以上
100株以上500株未満	1,000	2,000
500株以上1,000株未満	2,000	3,000
1,000株以上	3,000	4,000

ファン株主クラブ

株主様との関係をさらに強化し、

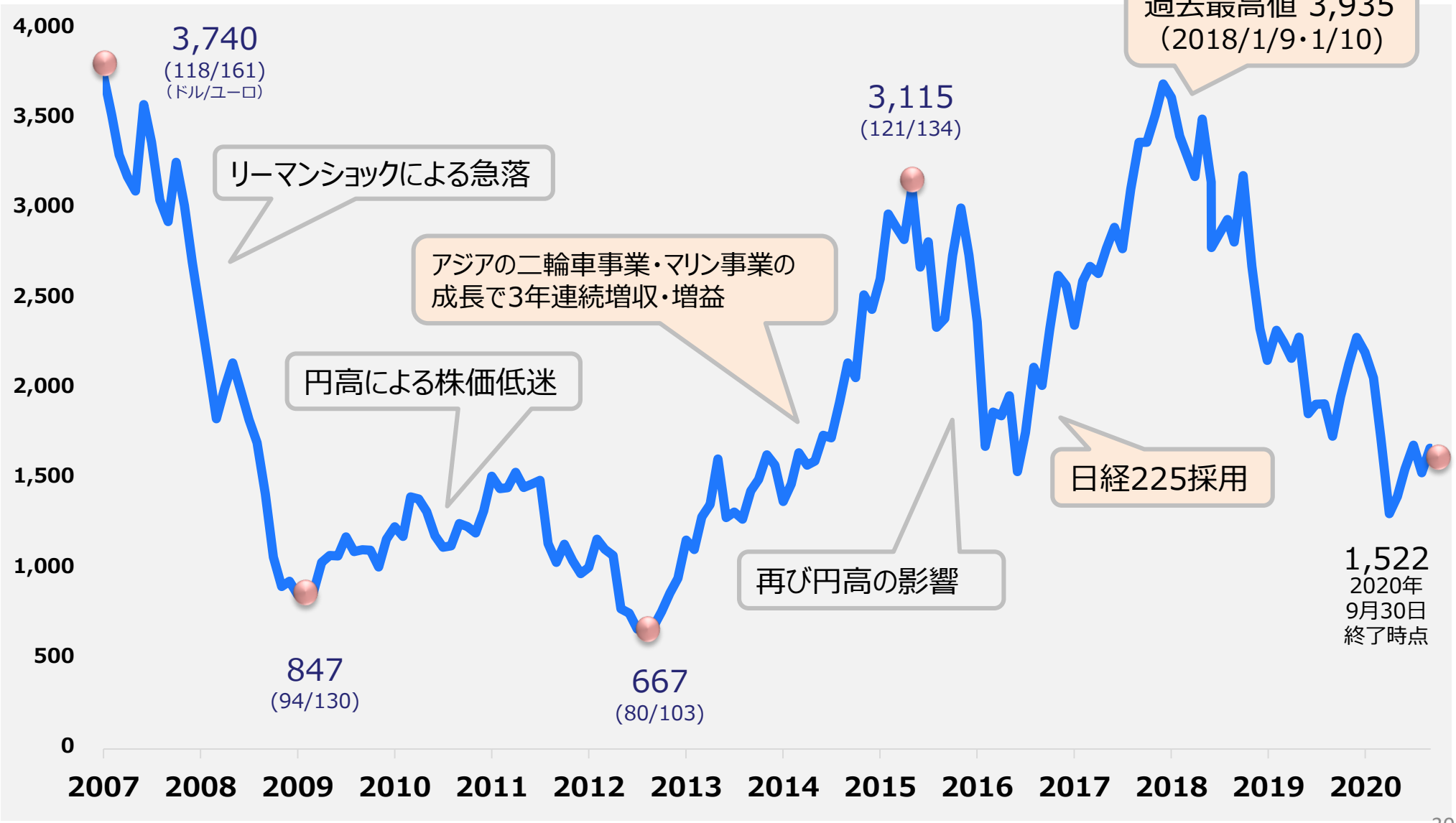
当社のことをより深く知っていただくためのファンクラブ

- ボートショーやモーターショーなど業界イベントへのご招待
- 二輪車、ボート、船外機工場見学会
- 取締役との座談会など

ファン株主クラブ専用ページ

二輪車組立工場ご視察会

株価の推移 2007－2020年



まとめ

1．幅広い商品を世界中で展開

＞二輪車は、アジアで強いブランドイメージと市場シェアを確保

＞マリンとロボティクスは高収益事業で長期的に成長。

＞電動商品の展開

ゴルフカー（1979年）電動アシスト自転車（1993年）

電動車いす（1995年）電動スクーター（2002年）産業用ドローン（2018年）

＞特定商品の需要変動や地域の経済変動に左右されにくいビジネス構造

2．事業活動を通じて、社会の課題解決に貢献し自らも成長していく

3．成長に向けた投資と株主還元をバランス

ヤマハ発動機株式会社

（東証一部 7272）